

水辺にはたくさんのごみが散乱しています。海洋プラスチック汚染の対策のためにも、水辺に散乱するごみの状況を全国規模で把握することは大切です。2018年も多くの方にご参加いただきました。

ごみを調査することにより、水辺のごみへ目を向け、何でごみがあるのかを考え、周囲の環境への関心を高めました。

（調査期間：2018年4～11月）

◆調査状況

- 参加人数 のべ **11,487** 人
- 調査力所 **409** 力所
- 調査範囲計(水辺の長さ) 167.34km

◆調査結果



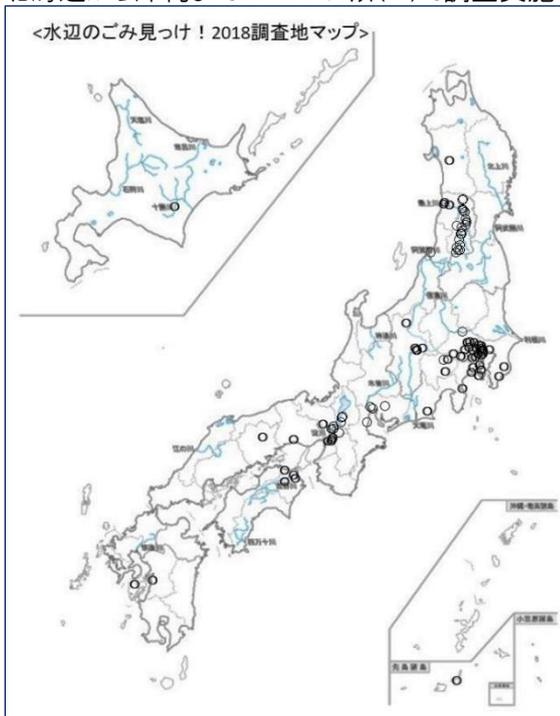
○飲料ペットボトル：**44,506** 個
 ○レジ袋：**16,935** 枚
 ○カップ型飲料容器：**2,432** 個

(調査地別内訳)	川	海	湖沼	合計
飲料ペットボトル(個)	41,433	1,305	1,768	44,506
レジ袋(枚)	11,025	2,811	3,099	16,935
カップ型飲料容器(個)	1,459	393	580	2,432
調査力所数 *	376	22	11	409
調査範囲(Km)	150.00	5.69	11.65	167.34
参加人数(人)	9,980	881	626	11,487

* 同じ地点でも調査時期が異なる場合は複数力所としてカウント

◆調査実施場所

北海道から沖縄までの409力所(*)で調査実施



◆川ごみの状況

全国の川沿いの376力所(のべ150.0km)で
 41,333個のペットボトルを数えました。

調査距離は、日本の河川(一級、二級、準用河川の総延長144,046km)の0.104%

これより国内河川での推測量は

○飲料ペットボトル 約**4,000万**本
 ○レジ袋 約**1,000万**枚,
 カップ型飲料容器 約**140万**個

※ペットボトル(幅65mm) 4,000万本を横に並べると、
 おおよそ**那覇一稚内**の長さになります。
 レジ袋(sサイズ長さ38cm) 1,000万枚を並べると、
 おおよそ**本州一周**の長さになります。



4/7 和泉川(横浜市) 6/4 大和川(大阪市) 9/9 木津川(木津川市) 9/22 湊川(東かがわ市) 10/10 馬見ヶ崎川(山形市)

本調査は、公益財団法人河川財団による河川基金の助成を受けて実施しました。